

自己と他者の相互理解を深める社会科歴史学習

—歴史事象を議論する活動を通して—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 言語・社会科学系（社会）

黒野 凧咲

グローバル化する現代社会において、多様な価値観を持つ人の協働するためには、相互理解を深めることが求められる。そこで本研究では、自己と他者の相互理解を深める歴史学習の成果と課題、改善点を明らかにすることを目的とした。そのために、先行研究を参考に5つの手立てを考案し、中学校で歴史事象を議論する活動を取り入れた授業を行うことで、生徒の記述や発言から成果と課題を分析した。成果としては、相互理解を深めるための5つの手立てを用いることで、生徒は自己と他者の視点を認識し、分析する段階まで相互理解を深めることができた。しかし、議論が根拠や資料に基づいておらず、出来事の影響を単純化する場面があったことから、科学的な社会認識の育成については課題が残った。改善点としては、一つの歴史事象の影響をより科学的に考察するために、選択・判断する際の選択肢を減らし、議論までの調べ学習の質を高めることである。